



阿部 夏代 隊員

関係づくり・健康づくり・環境づくり

皆さまこんにちは。地域おこし協力隊の阿部夏代です。今年は大寒波、夏は記録的な暑さが続くなど気候が厳しい印象ですが、いかがお過ごしでしょうか。

我が北秋田市役所移住・定住支援室は「テーマから探す！移住フェア」への参加や「就職移住相談会in北秋田」といったイベントを行いました。秋には「県北合同移住交流フェア」への参加も予定しており、これからも移住・定住を希望される方の足掛かりとなるよう活動していきます。

個人では、変わらずに「食」をテーマにしています。地域の農家さんに収穫・販売・商品開発の一部を見せてもらったり、飲食の現場での調理の勉強やイベント参加、食関係の資格取得も進めています。そして食欲の秋を存分に楽しむため運動も

しています。食べたらとにかく動く（後片付けでも何でも良いので）をモットーに、無理のない範囲で健康づくりをしています。

さて、季節も移り変わっていきつつある中で、北秋田市でまだ足を踏み入れていない場所や出会う知らない方々、県外の方は何を知りたいのかなど、移住コーディネーターとしても改めて初心にかえりたいと思います。どこかでお見かけの際には色々教えてください。どうぞよろしくお願ひします。



▲調理中の様子

きらり★と輝く各校の取り組みから

総合的な学習の時間に関する補助金 活用事業

info:06 きらり★未来を切り拓く子どもたちの活動

北秋田市立小・中学校および義務教育学校の「総合的な学習の時間」では、市からの「総合的な学習の時間に関する補助金」を活用し、校外学習、地域の人々との交流、伝統行事の体験など様々な活動を行っています。

これらの活動を通じて、ふるさとを愛し、ふるさとを支えようとする子どもたちの育成を図っています。このコーナーでは、各校の活動の様子をご紹介します。

☎ 学校教育課義務教育係 ☎62-6617



▲5月9日 米内沢小「WAROCK制作」



▲6月3日 前田小「全校親子ななか登山」



▲6月4日 鷹巣小「鷹巣いいとこ見てふれ隊in餅こまつり」

市長ダイアリー

◇ 8月16日～9月15日

16日(水) 第61回阿仁の花火大会(阿仁河川公園)

17日(木) 9月補正予算市長査定(本庁舎)

20日(日) 第17回北秋田市民俗芸能大会(文化会館)

21日(月) 北秋田市老人クラブ連合会要望書提出(本庁舎)

22日(火) 北秋田市男女共同参画推進会議委員委嘱状交付式(第二庁舎)

23日(水) 秋田北鷹高校相撲部全国高校総体優勝報告(本庁舎)

24日(木) 定例記者会見(本庁舎)

25日(金) 北秋田市戦没者追悼式・秋田県遺族連合会北秋田郡市戦没者遺族地方大会(文化会館)▽国道103号改築促進期成同盟会会計監査(本庁舎)

28日(月) 事業承継支援に関する連携協定締結式(本庁舎)▽定例部長会議(本庁舎)

31日(木) 地域おこし協力隊退任式(貝田真紀氏)(本庁舎)▽第181回秋田県市長会定例会・意見交換会(秋田市)

1日(金) 秋田県木材利用促進委員会(秋田地方総合庁舎)▽林業団体連絡協議会通常総会(秋田市)

2日(土) 第2回JAまつり・JA秋田たかのす農業者大会(鷹巣体育館)

3日(日) 秋田県消防協会大館北秋田支部総合防災訓練(鷹巣地区)

4日(月) 9月補正予算市長査定(本庁舎)▽地域おこし協力隊委嘱状交付式(藤原健太郎氏)(本庁舎)

5日(火) 北秋田市議会9月定例会本会議(初日)(議事堂)▽鷹巣中学校相撲部全国大会団体準優勝報告(本庁舎)

7日(木) 北秋田市議会9月定例会本会議(一般質問(1日目))(議事堂)

8日(金) 北秋田市議会9月定例会本会議(一般質問(2日目))(議事堂)

9日(土) 第21回北秋田市縄文まつり(伊勢堂縄文館)

12日(火) 秋田県・県内市町村と誘致企業との懇談会(秋田市)

13日(水) 米代川合同船上巡視(米代川綴子船場)▽河川公園▽北秋田市自治会連絡協議会役員研修会(フ

ウインクス森吉)

14日(木) 北秋田市ALT退任式(1名)・新任式(3名)(本庁舎)

15日(金) 千葉文吉氏叙勲伝達式(本庁舎)▽明治安田生命

保険相互会社秋田支社寄附金贈呈式(本庁舎)

▲定例記者会見を行う津谷市長



▲定例記者会見を行う津谷市長

ショー  
コリガン



私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.84

肝煎ハー代ニシテ郷中ハ永久ナリ

8月の猛暑日が続いている間、市のALTでフィールドワーク研修を行い、その一環として七日小猿部川の川辺に建てられている長岐家住宅を見学しました。

日本へ引越してから好きになった北秋田市の一部の江戸時代当時の様子を知ることは、私にとって興味深い経験になりました。計算してみれば、今回のタイトルの言葉を残した長岐家七代目当主の七左衛門は、アメリカ合衆国が独立を宣言した安永5(1776)年当時、現在の私とそれほど変わらない年齢でした。日本の真反対側にある私の出身国にとって大事な日に、どのように1日を過ごしていたのでしょうかと、想像するのに夢中になります。

七左衛門は、農業改善に尽くすなど、村人のことをよく見守ったり、村人のために努力したりしていたようです。これと同じような愛情が、七左衛門の子孫や小猿部地区の住民からもよく伝わります。この地域で開催される葛黒の火まつりへの温かい招待・受け入れもその一例です。

七左衛門も、その火まつりを観賞していたのでしょうかね…。

